

# 参加申込書

事務局<関西医薬品協会内>あて  
(FAX送信先:06-6231-9195)

彩都産学官連携フォーラム2019〔千里ライフサイエンスセンター 5階山村雄一記念ライフホール〕 **参加無料**

1月23日(水)

<b>シンポジウム「リアルワールドデータ活用への展望」</b>	
	座長：国立循環器病研究センター臨床試験推進センター長 <b>山本 晴子</b>
10:00	大阪大学大学院医学系研究科医療情報学教授 医学部附属病院 医療情報部 部長 「診療情報の臨床研究利用の取組みの現状と展望」 <b>松村 泰志</b>
12:10	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 難治性疾患研究開発・支援センター センター長 <b>木村 友則</b> 「難病 DB を活用した難治性疾患研究開発・支援センターの取組み」
	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 医療情報活用部長 <b>宇山 佳明</b> 「医療情報データベース (MID-NET) を活用した新たな医薬品安全対策」
	武田薬品工業株式会社 日本開発センター ファーマコビジランス部 安全対策グループマネージャー <b>阪口 元伸</b> 「医薬品開発から市販後におけるリアルワールドエビデンスの活用」
<b>彩都における新たな研究開発の動き</b>	
13:30	株式会社ファンペップ 代表取締役社長 <b>平井 昭光</b>
14:30	「ペプチド創薬の魅力と将来」 株式会社ペプチド研究所 企画開発室 室長 <b>吉矢 拓</b> 「研究開発への取り組み」
<b>医薬基盤・健康・栄養研究所の挑戦～創薬基盤研究 新たな試み～</b>	
14:30	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター センター長 <b>保富 康宏</b>
16:50	「霊長類疾患モデルを用いた創薬イノベーション」 同研究所 バイオ創薬プロジェクト プロジェクトリーダー <b>鎌田 春彦</b> 「革新的創薬に向けた治療薬シーズ抗体探索技術の開発」
	同研究所 バイオインフォマティクスプロジェクト プロジェクトリーダー <b>水口 賢司</b> 「データ統合と人工知能技術による新薬創出の加速」

所属		所在地	都・道・府・県
役職		ふりがな 氏名	様
電話		Email	
参加時間帯 (□にチェックしてください。)		□全日(午前、午後共) □午前のみ □午後のみ	

上記の項目をご記入の上、**1月17日(木)まで**に送信し(FAX06-6231-9195)、フォーラム当日は、受付でこの用紙を

お渡し下さい。また、インターネットでもお申込みできます。(http://www.kpia.info/2019/)

※ いただいた個人情報は参加者名簿作成の目的以外では利用しません。

※ 定員に達し次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

※ 障がい等で配慮を希望される方は、事前にご相談下さい。

※ 同会場で連携開催される次世代アジュバンド研究会については、参加希望の旨と氏名、所属、役職、E-mail アドレスを記載の上、専用メールアドレス(jisedaiadju@nibiohn.go.jp)までお申込み下さい。

会場へのアクセス：「千里中央」駅 Osaka Metro 御堂筋線(北大阪急行電鉄)北出口すぐ/大阪モノレール出口から北へ徒歩5分